



漁海況通信

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科
〒851-2213 長崎市多良良町1551-4 電話 095-850-6304 FAX 095-850-6346
ホームページアドレス <https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

令和5年度 第1回対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報

令和5年10月31日に開催されました、第119回対馬暖流系アジ・サバ・イワシ長期漁海況予報会議で長期予報をとりまとめましたのでお知らせいたします。(参画機関：水産研究・教育機構、漁業情報サービスセンター、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県)

令和5年度 第1回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報 本文

今後の見通し(2023年11月～2024年3月)

海況

(1) 海流

薩南海域における黒潮北縁域は、「屋久島南付近での変動(平均的な位置)」もしくは「接岸傾向」で経過する。

(2) 表面水温

東シナ海から九州・日本海西部沿岸域にかけての表層水温は、「やや高め」～「かなり高め」で経過する。

※引用符「」で囲んで表した年平均比較の水温の高低の程度は以下のとおり。

「やや」：約3年に1回程度の発生頻度

「かなり」：約7年に1回程度の発生頻度

漁況

(1) マアジ

<東シナ海>

*来遊量：沖合域は前年並みで平年を下回り、沿岸域は前年並みで平年を上回る。

*漁期・漁場：期間を通して、対馬沖、沿岸域が漁場となる。

*魚体：10～19cmの0歳魚(豆・ゼンゴ銘柄)および19～24cmの1歳魚(小銘柄)が主に、24cm以上の2歳魚以上(中・大銘柄)も漁獲される。

<日本海>

*来遊量：前年・平年を下回る。

*漁期・漁場：期間を通して、日本海西部が漁場となる。

*魚体：16～24cmの1歳魚(小銘柄)が主に、10～16cmの0歳魚(豆・ゼンゴ銘柄)および24cm以上の2歳魚以上(中・大銘柄)も漁獲される。

(2) マサバ

<東シナ海>

*来遊量：沖合域、沿岸域とも前年・平年並み。

*漁期・漁場：期間を通して、対馬沖、沿岸域が漁場となる。

*魚体：25～28cmの0歳魚(豆銘柄)および28～32cmの1歳魚(小銘柄)が主に漁獲される。

<日本海>

*来遊量：前年並みで平年を上回る。

*漁期・漁場：期間を通して、日本海西部～中部の沿岸域が漁場となる。

*魚体：25～28cmの0歳魚(豆銘柄)および28～32cmの1歳魚(小銘柄)に加えて、32cm以上の2歳魚以上(中銘柄以上)が漁獲される。

(3) ゴマサバ

<東シナ海>

*来遊量：沖合域は前年・平年並みで、沿岸域は前年並みで平年を下回る。

*漁期・漁場：期間を通して、東シナ海中部、五島灘・薩南、対馬沖が漁場となる。

*魚体：沖合域では25～30cmの0歳魚(豆銘柄)および30～33cmの1歳魚(小銘柄)が主に漁獲される。沿岸域では20～35cmの0歳魚以上(豆～中銘柄)が主に漁獲される。

(4) マイワシ

<東シナ海>

*来遊量：前年・平年を上回る。

*漁期・漁場：期間を通して、長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

*魚体：14～17cmの0歳魚(小・中羽銘柄)主体に、18～23cmの1歳魚以上(中・大羽銘柄)も漁獲される。

<日本海>

*来遊量：前年並みで平年を上回る。

*漁期・漁場：漁期前半に日本海西部、後半に日本海西部～中部の沿岸域が漁場となる。

*魚体：12～17cmの0歳魚(小・中羽銘柄)に加えて、18～23cmの1歳魚以上(中・大羽銘柄)も漁獲される。

(5) ウルメイワシ

<東シナ海>

*来遊量：前年・平年を上回る。

*漁期・漁場：期間を通して、長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

*魚体：15～25cmの0・1歳魚(中羽・大羽銘柄)が主に漁獲される。

(6) カタクチイワシ

<東シナ海>

*来遊量：前年並みで平年を下回る。

*漁期・漁場：期間を通して、山口県および長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

*魚体：5～10cmの0歳魚(カエリ・小羽・中羽銘柄)が主体で、10cm以上の1歳魚(大羽銘柄)が混じる。

注：「前年」は2022年11月～2023年3月、「平年」は過去5年の平年値。「並み」はCPUE等指標値の±20%の範囲。沖合域とは大中型まき網が操業する対馬周辺から東シナ海。

